

恵み豊かな自然を未来へつなぐ群馬県～生物多様性を守り賢く活かす～

群馬県環境森林部自然環境課

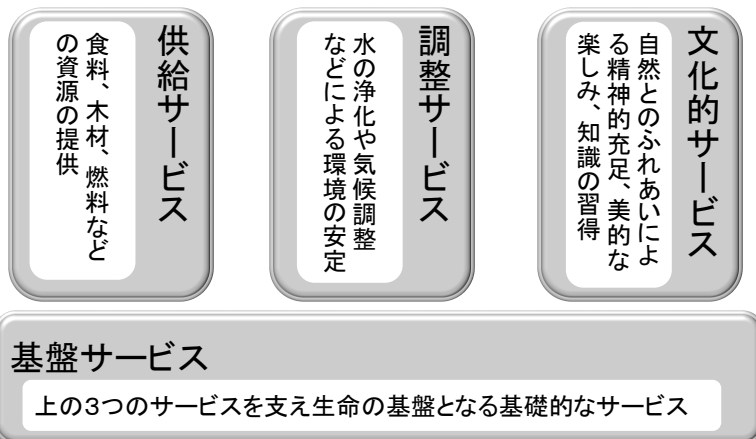
1-1. 生物多様性とは

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。

46億年という地球の歴史の中で、生きものは長い年月をかけて地球環境の変化に適応して進化し、多くの種が繁栄してきました。現在では3千万種の生きものがいると言われており、そのすべてに多様な個性があり、お互いにつながりを持って生きています。

1-2. 生物多様性の恵み

私たちは、生物多様性の恵み（4つの生態系サービス）を受けて暮らしています。生物多様性の恵みは実感しにくいものですが、無意識のうちにすべての人が享受しています。



1-3. 群馬県の生物多様性と暮らし

私たちの暮らしは、生物多様性とその恵みの上に成り立っています。本県でも、地形や気候の違いにより、各地域で産業や文化が育まれてきました。

This section features three panels, each with a title, descriptive text, and representative images.

- 農業と食料 (Agriculture and Food):** 豊富な水と長い日照時間、標高差のある耕地を活かし、多様な農作物が生産されています。古くから小麦の栽培が行われ、粉食文化が浸透しています。
Images: 下仁田ネギ (Shimoda Negi), リンゴ (Apples), ひもかわうどん (Himokawa Udon), 焼きまんじゅう (Yakimanzu).
- 絹産業 (Silk Industry):** 本県の蚕糸業は1200年以上の歴史を有しており、日本の近代化と戦後の復興を担った産業であり、地域経済の発展と文化の形成に寄与してきました。
Image: 富岡製糸場 (Tomogane Silk Reeling Plant).
- 温泉 (Hot Springs):** 草津、伊香保、水上及び四方の四大温泉に加え、千年以上の歴史を持つ梨木温泉、温泉マークの発祥地となった磯部温泉など個性豊かな温泉地が数多くあります。
Image: 草津温泉 (Katsunuma Onsen).

2. 生物多様性ぐんま戦略

(1) 基本理念

恵み豊かな自然を未来へつなぐ群馬県～生物多様性を守り賢く活かす～

生物多様性を保全しつつ、県民の理解を深めて持続可能な形での利用を進めることにより、地域の活力増進に結び付けていくことを目指します。

(2) 戦略目標（目指すべき10年後の姿）

- ① 県民の理解が深まり参加が進んでいる
- ② 生態系の劣化が食い止められている
- ③ 保全と利用の好循環への取組が進んでいる
- ④ 科学的知見に基づく中長期的課題が検討されている
- ⑤ 継続的な取組の体制が整えられている

(3) 基本戦略（目標達成に向けた取組の方向性）

- ① 生物多様性の価値の浸透
- ② 緊急性の高い保全施策の実施
- ③ 生物多様性の持続可能な利用の推進
- ④ 生物多様性に関する情報の蓄積と利用環境整備
- ⑤ 戦略を着実に推進する仕組みづくり

(4) 群馬県の生物多様性を守るために私たちが取り組むこと

群馬県の生物多様性の保全と持続可能な利用を進めていくためには、県だけでなく各主体が行動し、お互いに連携していくことが必要となります。

1 県民

- 身近な生きものに関心を持ち、理解を深めます。
- 地域の自然にふれあう活動に参加します。
- 地域の伝統行事に参加し、自然の恵みを活かした地域の文化を継承します。



2 事業者

- 事業活動における生物多様性への影響を把握し、影響を小さくするよう努めます。
- 地域で作られたものを優先的に利用することにより、地域経済に貢献します。
- 周辺に配慮した緑化に努め、周辺地域の生きものに良好な環境を提供します。



3 農林漁業者

- 環境保全型農業に取り組み、環境に配慮した農業生産に努めます。
- 計画的に事業を進めることにより、持続可能な林業経営に努めます。
- 各種ツーリズムなどを通じて農林漁業における取組を知ってもらう活動に取り組みます。



4 NPO等の民間団体

- 環境学習や保全活動など、地域に応じた活動を継続して行います。
- 活動の実績を活かし、他の主体に対して提言を行い、取組を支援します。
- 地域の生物多様性保全活動に携わる人材を育成します。